

令和元年度教育研究業績書

氏名 羅 東耀

最終学歴	1999年3月 大阪市立大学大学院文学研究科社会学専攻後期博士課程修了	
取得学位	文学(社会学)博士	
所属学会	日本犯罪社会学会、日本社会病理学会、関西社会学会	
専門分野	社会学 日中言語比較	
研究課題	経済改革後の中国社会変動 中国語と日本語との比較	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国語基礎(中国語初級)</li> <li>・中国語表現(中国語初級)</li> <li>・中国語応用</li> <li>・国際関係論Ⅵ</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国語</li> <li>・国際関係論Ⅱ</li> </ul>
【研究上の特記事項】		
【教育上の特記事項】		
【社会的活動】	2019年7月、奈良日本中国友好協会主催「日本語弁論大会」審査員	
【学内活動】 (学内職歴を含む)		

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ① ② ③ ④				
(学術論文) ①奈良県内の案内や注意事項の中国語の誤訳に関する調査研究 ② ③ ④	単	2020年3月	奈良大学紀要第48号、第63-73頁	研究は主として日本語の独特な表現と日本語の漢語の中国語訳に焦点を当て、その直訳の問題を明らかにした
(学会発表) ①「平田末治の西沙群島の開発について」蘇州科技大学人文学院主催「改革開放後の中国と世界の近代化に関するシンポジウム」にて ② ③ ④	単	2019年/11	論文は、すでに2019年11月末に提出、2020年論文集の出版予定	研究発表は主に戦後日本に公表された外務省記録に基づいて平田末治の西沙群島の開発の目的およびその後の影響について論じた。
(その他) ①奈良県内の中国語で書かれている注意事項・案内に関する調査研究 ② ③ ④	単	2019年度	奈良大学の研究助成	